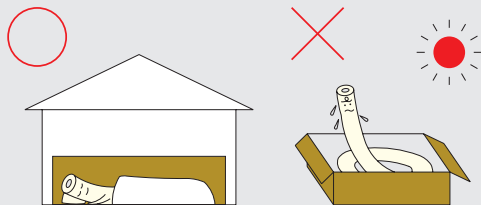


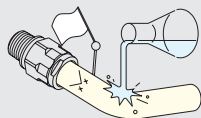
保管及び施工上の注意事項

1 継手、樹脂管とも雨や日光の当たらない場所に保管し施工時は遮光処理をして下さい。



樹脂管の保管は、平らな面にダンボール等のクッション材を敷き、横積みとし、高さは巻管1.5m以下、直管1.0m以下として下さい。

2 樹脂管は薬品等に侵されますので接触させないで下さい。



- ・有機溶剤
(ベンゼン・アセトン・キシレン)
トルエン・灯油・ガソリン
発泡ウレタン 等
- ・防腐剤・防蟻剤・殺虫剤・除草剤
- ・軟質塩化ビニル等 可塑性を含んだ材料
- ・塗料

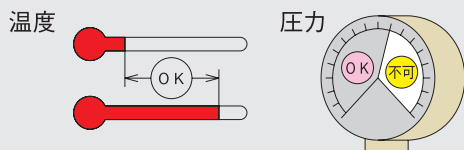
HIVP及び継手周りにシーリング材を使用する場合、シーリング材にフタル酸エステル系可塑性剤及び非反応性高沸点希釈剤が入っていないことをシーリング材メーカーに確認して下さい。

接着剤による接続はできません。施工時に有機溶剤を使用したマジック、ペンキ等による樹脂管へのマーキングは避けて下さい。

継手に貼られたシール又は専用マーカを使用して下さい。

施工後は必ずシールを貼付けたままにして下さい。(樹脂管接続手順P141参照)

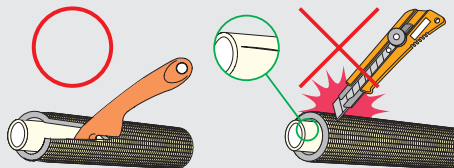
3 樹脂管は温度別使用圧力の範囲内で使用して下さい。使用される樹脂管の性能表を確認して下さい。



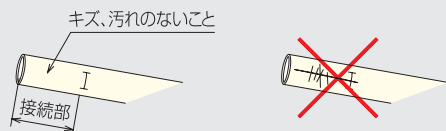
架橋ポリエチレン管は95℃・ポリブテン管は90℃よりも高温を発生する熱源機器には使用しないで下さい。

4 被覆材の切除には被覆カッター(P124掲載)を使用し、市販のカッターナイフ等は使用しないで下さい。樹脂管にキズを付けると漏水の原因になります。

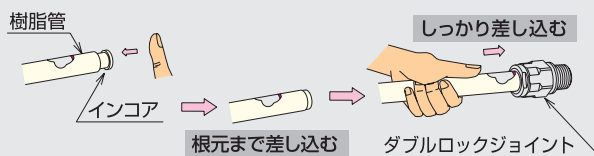
カッターキズ厳禁!



5 継手と樹脂管はオーリングでシールされますので、保管、運搬時にキズ及び異物が付かないように注意して下さい。



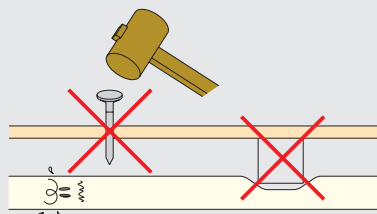
6 インコアを樹脂管に根元まで差し込んだ後、樹脂管をダブルロックジョイントに最後までしっかり差し込んで下さい。



7 再組付時の不備(部品の欠品、変形及び締付力不足等)によるトラブルは責任を負いかねます。やむを得ずダブルロックジョイントを分解する場合は、十分に注意して下さい。

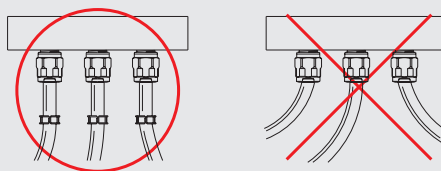
8 樹脂管にねじ切り加工や熱による加工等はしないで下さい。

9 樹脂管にくぎを打ち込まないで下さい。樹脂管のつぶれがないようにして下さい。

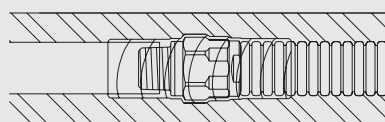


10 凍結の可能性がある場合は、保温や水抜き等の処理をして下さい。

11 接続部よりすぐに樹脂管を曲げて配管しないで下さい。



12 土中及びコンクリートに埋設する場合の継手やバルブの材質は青銅製または樹脂製をご使用の上、専用防食テープ(P127掲載)で適切な防食処理を施すことをおすすめします。一般市販品の防食テープを使用する場合、樹脂管が劣化しますので、防食テープを直接樹脂管に巻かないで下さい。



13 ねじ込みの際、下記の締付トルクを参考に適正な締付トルクで締付け、過大な力をかけない様に注意して下さい。

締付トルク(黄銅・青銅製品)

呼び径	R-Rcテーパねじ	Gねじ(ノンアスベストパッキン)	Gねじ(EPDMパッキン)
1/2	25~35N・m	20~30N・m	15N・m
3/4	40~50N・m	30~40N・m	15N・m
1	50~60N・m	40~50N・m	—

黄銅・青銅製品よりも硬い材質(鋼・ステンレス等)を組み合わせる場合も上記トルクで締付けて下さい。変形や破損、漏れの原因になります。

ダブルロックジョイント

特長工法別
商品見表

架橋ポリエチレン管

WJ型

WL型

WT型
WX型

WPL型
WPT型

保温材
ダブルバルブ

ヘッダー

取付金具
交換アダプター

水栓ジョイント
関連

たて型水栓
ジョイント関連

配管部材

施工例

参考資料